

4. 2008年1月1日から12月31日までに、麻しん患者の発生に伴う積極的疫学調査が、管轄保健所を中心に実施された事例*がありましたか。

- 「あった」保健所における平均事例*数
 - 平均17.1事例 (0熊本県御船保健所～680横須賀市保健所)
- 「あった」における「実施した」割合
 - 保健所: 281/282 (99.6%)
 - 事例*: 2823/4819 (58.6%)
 - 「あった」保健所における「実施した」割合の分布
 - 平均値: 85.9%、最頻値: 100.0%
 - 範囲: 0.0%～200.0%
- データの質に疑問が残る
 - 「事例」「outbreak」「症例」の定義の理解が不十分
 - Outbreakを数でとらえる概念が浸透していない可能性あり



*「事例」: “outbreak”数と“症例”数が混在

5. 第3期と第4期で「集団の場」を用いた接種を行った市区町村の数(割合)

第3期: 438/1807 (24.2%)

第4期: 170/1807 (9.4%)

実施した市町村特別区の割合

- 60.0% ≤
- 40.0% <, ≤ 60.0%
- 20.0% <, ≤ 40.0%
- 0.0% <, ≤ 20.0%
- 0.0%

